

みずほCustomer Desk Report 2016/08/16 号(As of 2016/08/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.46 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.26	1.1164	113.05	0.9749	1.2912	0.7655
SYD-NY High	101.46	1.1204	113.28	0.9758	1.2944	0.7692
SYD-NY Low	100.87	1.1152	112.69	0.9714	1.2865	0.7637
NY 5:00 PM	101.25	1.1182	113.25	0.9729	1.2884	0.7675
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.645/10.045		△25RR	1.205	Yen Call Over	
NY DOW	18,636.05	59.58	債券市場	日本2年債	-0.1840	0.7bp
NASDAQ	5,262.02	29.12		日本10年債	-0.0850	1.7bp
S&P	2,190.15	6.10		米国2年債	0.7258	2.0bp
日経平均	16,869.56	▲50.36		米国5年債	1.1347	3.7bp
TOPIX	1,316.63	▲6.59		米国10年債	1.5576	4.4bp
シカゴ日経先物	16,885	60.00		独10年債	-0.0740	3.4bp
ロンドンFT	6,941.19	25.17		英10年債	0.5310	1.3bp
DAX	10,739.21	25.78		豪10年債	1.8730	▲3.4bp
ハンセン指数	22,932.51	165.60		為替市況	USD/CNH	▲0.0054
上海総合	3,125.20	74.53		ドルインデックス	95.61	▲0.11
USDJPY 3M Vol	12.07	0.11%	商品市況	CRB指数	185.144	2.46
USDJPY 6M Vol	11.54	0.18%		NY金	1,344.600	1.40
EURJPY 3M Vol	11.31	▲0.04%		WTI	45.710	1.22
EURJPY 6M Vol	11.26	▲0.04%		Dubai Spot	43.85	0.83

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月15日	08:50	日 GDP(速報、前期比/前期比年率)	2Q 0.0%/0.2%	0.2%/0.7%
	13:30	日 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	6月 2.3%/ー1.5%	ー/ー
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	8月 -4.21	2.00
	23:00	米 NAHB住宅販売件数(前月比)	8月 60	60

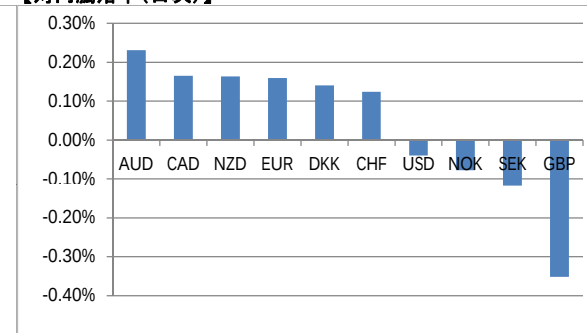
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	10:30	豪 RBA議事要旨(8月会合分)	ー	ー
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.1%/0.5%	0.2%/0.5%
	17:30	英 コアCPI(前年比)	7月 1.4%	1.4%
	17:30	英 PPI産出(季調前、前月比/前年比)	7月 0.2%/0.0%	0.2%/ー0.4%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	8月 50.2/2.0	49.8/ー6.8
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	8月 ー	ー14.7
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1,180K/1,160K	1,189K/1,153K
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/0.9%	0.2%/1.0%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.3%	0.2%/2.3%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.3%	0.6%
	22:15	米 設備稼働率	7月 75.6%	75.4%
8月17日	01:30	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	ー	ー

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	週明けのドル円相場は、シドニー時間101円台前半と先週末NYクロスレール(101.30)とほとんど変わらない水準で推移。東京時間オープン直前に発表された本邦第2四半期GDP(速報)は、前期比+0.0%(予想同+0.2%)、前期比年率+0.2%(予想同+0.7%)と予想を下回ったものの、相場への影響は限定的。斯かる中、ドル円は101.26レベルにて東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を縮小させたことや、実需勢によるドル買い期待などから高値101.46をつける。しかし、相場の方向性を明確にするには材料不足であり、更なる上値追いはならなかった。午後に入っても101円台前半でのレンジ推移が継続し、結局101.16レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間序盤のドル円は上値重く推移し101.00を割り込んだものの、中盤にはクロス円の反発を受け再び値を戻す展開となった。朝方は101.16レベルでオープン。米長期金利が下げ止まる動きを見せたものの、ポンド円を中心にクロス円が下落する中、ドル円は100.87まで連れ安となった。しかし、その後はクロス円が反発する動きにドル円も値を戻し、100.94レベルでNYへ渡った。ポンドドルは終始軟調となり、1.29台前半から1.28台後半まで下落。朝方は1.2931レベルでオープン。週末に大手紙より英国のEU離脱のために必要なリスボン条約第50条の発動が、2017年秋までずれ込む可能性があることが報じられたことが嫌気され、ポンドは軟調推移。ポンドドルは1.2882まで下落した後、1.2899レベルでNYへ渡った。(ロンドントルリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NYのドル円相場は100.94レベルでオープン。朝方発表された米8月ニューヨーク連銀製造業景気指数はマイナスと予想外の落ち込みとなったが、市場は反応薄。牽ろろ先物はやや上げ幅を拡大。米債利回りは上昇したことで、為替市場もややドル高・円安の動きとなった。その後に発表された米8月NAHB住宅市場指数は予想通りの結果だったが、ややドル買いの反応も見られ101.24まで上昇した。中盤にかけて、ドル円は再び101円割れを目指す動きが見られたものの、下押しの動きまでは至らなかったことで、短期筋からのショートカバーも入り一時101.28まで上値を伸ばした。終盤にかけて、新規材料が不足する中、堅調なダウや原油価格動向にサポートされ、ドル円は底堅く推移し101.25レベルで海外市場へ渡った。ユーロドルは1.1183レベルでNYオープン。ユーロドルはNY市場に入って緩やかな上昇を続け、一時1.1204をつけた。しかし、総じて動意は乏しく、他市場と同様に新しい材料探しといった雰囲気が続いた。終盤、ユーロドルは1.11台後半でレンジ推移となり1.1182レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・坂本

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.70ー101.50	1.1120ー1.1220	112.50ー113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は特段大きな材料に欠ける中狭いレンジで小動きとなるなど、夏枯れ相場の様相を呈している。本日については上値重い展開か。本邦勢は引き続きお盆休暇であるところが多く、市場参加者が限られることから方向感はいくもものの、足許弱めの米経済指標が目立つ中、米7月住宅着工件数や米7月消費者物価指数の発表を控えている。弱い結果となるとドル円が下値をトライする可能性があり、リスクは下方向であろう。